

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 8 月 1 日

評価対象事業		評価者	政策創造課長 馬場 晋一□	
共生-07	スマートシティ推進事業	☒ 自治事務	主管課	政策創造課
重点事業		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	0-(2) 行財政運営	施策の方針	0-(2) 行財政運営

1 事業の目的

対象	市民等
意図	人にやさしいテクノロジーの活用によって本市が抱える社会課題を解決し、人間中心の共生社会を築いていくことを目指す鎌倉版「スマートシティ」を構築するため。
効果	市民の課題に寄り添うテクノロジーやデータを活用することで、共創によるまちづくりを実現する。

2 令和5年（2023年）度実施した事業の概要

・官民共創による新たな市民サービスの創出に向け、企業や団体等を構成員とする「スマートシティ官民研究会」の全体会及びワークショップを開催するとともに、スマートシティサービスのモデル事業として、避難所運営のDX化及びシェアサイクル実証に向けた官民共創の取組を進めた。
・データを利活用した官民共創の取組を支える仕組みとしてデータ連携基盤を運用するとともに、データ連携基盤を利活用した官民共創のユースケース創出を目指し、スマートシティ官民研究会に事業化分科会を設置した。
・市の政策形成過程に多くの市民の意見を反映させる仕組みとして、従来の対面による市民対話に加え、オンラインプラットフォーム「Liqid」を運用し、西鎌倉地域での共創の取組のほか、人権施策推進指針の改定等に活用した。
・市公式 note にスマートシティプロジェクトとして通算 8 本の記事を投稿し、継続的な情報発信を行った。

3 事業を構成する事務事業（最小事業）実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 （主な経費等）	指標（単位）	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標（実績値／目標値）		指標（目標値）	
				事業費（決算／当初）（千円）		予算額（千円）	
01	官民共創□ □ □ □	共創の基盤の効果的な連携支援委託業務／スマートシティ推進 参与報酬／スマート シティ推進アドバイザー報酬	創出した官民共創の ユースケース数	2件 /	2件	2件	100%
				2,985 /	5,291	5,340	
		スマートシティ官民研究会の開催	年間実施回数	2回 /	2回	2回	100%
02	市民参加型共創プラットフォーム運用	オンラインプラットフォームの導入、市民対話の実施等	プラットフォーム活用 案件数	3件 /	5件	5件	60%
				3,984 /	4,083	4,082	
				データ連携基盤運用・保守	データ連携基盤運用・保守等の委託	データ連携基盤への 接続プロジェクト数	
04	一般事務経費	普通旅費、消耗品費、会場使用料、負担金	-	- /	-	-	-
				202 /	381	289	
				05	広報・人材育成・調査研究	公式note等による広報、LWCIの調査研究等	
- /	-	-					
		財源内訳	国県支出金				/
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	18,550 /	22,346	22,302	
			事業費の合計（千円）		18,550 /	22,346	22,302
		人件費（千円）			34,902	24,199	

4 この事業に関わる職員数（毎年度4月1日時点）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.5	6.5	4.0	4.5	3.0	
会計年度任用職員	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	官民共創□ □ □	令和5年度は、民間主導の補助事業活用支援とスマートシティモデル事業の組成により、目標どおり官民共創のユースケースを創出することができた。	市民・民間企業・大学等の様々なステークホルダーとの共創関係を築き、市民が抱える課題の解決に取り組むことで、「持続可能な都市経営・共生社会」の実現に寄与するもの。	各ステークホルダーの積極的かつ継続的な参画を促す仕掛けや工夫が求められる。
		令和5年度は、目標どおり年2回のスマートシティ官民研究会(全体会)を実施することができた。	市民・民間企業・大学等の様々なステークホルダーとの共創関係を築き、市民が抱える課題の解決に取り組むことで、「持続可能な都市経営・共生社会」の実現に寄与するもの。	各ステークホルダーの積極的かつ継続的な参画を促す仕掛けや工夫が求められる。
02	市民参加型共創プラットフォーム運用	令和5年度は、庁内からの活用要望が3件に留まったため、目標未達成となったが、令和6年度はガイドブックによる普及により、5件の活用展開を目指す。	市民・民間企業・大学等の様々なステークホルダーとの共創関係を築き、市民が抱える課題の解決に取り組むことで、「持続可能な都市経営・共生社会」の実現に寄与するもの。	市民から寄せられた意見やアイデアを事業として実現させていく仕組みを整備する必要がある。
03	データ連携基盤整備・運用	令和5年度は、データ連携基盤を活用したユースケースの創出に向け、事業化分科会を設置し、官民のコミュニティ形成に注力したことによりユースケースの創出は1件に留まった。今後は、得られた知見を官民研究会の会員へ展開し、データ連携基盤へ接続する際の課題を解消していくことで、今後スマートシティサービスの拡充に努めていく。	市民・民間企業・大学等の様々なステークホルダーとの共創関係を築き、市民が抱える課題の解決に取り組むことで、「持続可能な都市経営・共生社会」の実現に寄与するもの。	サービス間の連携を実現するために必要な最低限の機能を整備し、オープンデータのみを取り扱う基盤を運用している。現状、パーソナルデータの取り扱いについては、想定していないが、基盤の運用ルール等も含めて引き続き検討していく必要がある。
04	一般事務経費	消耗品等の事務経費のため成果指標は設定していない。	事務経費として必要不可欠である。	-
05	広報・人材育成・調査研究	令和5年度は各事業の進捗状況と広報のタイミングを合わせた結果、8件の記事投稿となった。	市民・民間企業・大学等の様々なステークホルダーとの共創関係を築き、市民が抱える課題の解決に取り組むことで、「持続可能な都市経営・共生社会」の実現に寄与するもの。	事業の取組状況だけではなく、事業実施に至るまでのプロセスも含め、取組の全体像を分かりやすく伝えていく必要がある。 令和6年度は、令和5年度の投稿実績を踏まえ、指標(目標値)を年間12件から8件に変更し、各事業の前後の適切なタイミングでタイムリーな投稿を確実にやっていく。

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
			協働実施済の場合のパートナー 市民、民間事業者、大学

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
令和5年度は、令和4年度に整備した持続可能な共生社会を支える産官学民共創の基盤として「市民参加型共創プラットフォーム」及び「データ連携基盤」を運用し、その実装を進めた。令和6年度は、スマートシティ構想に掲げる「市民参加型のスマートシティ」の実現に向け、政策形成の様々な場面で市民参加型共創プラットフォームの積極的な利活用を進め、市民参加のすそ野を広げるとともに、スマートシティ官民研究会の活動を活性化させ、市民の利便性とWell-Beingの向上につながるサービスを官民の垣根を越えて創出する。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	スマートシティの取組は、庁内事務のデジタル化から市民サービスの高度化まで幅広い領域に跨るため、自治体によってその定義や取組領域が大きく異なることから、業務の性質上、他の自治体との比較にはなじまないものと考えている。
--------------------------	---